

琵琶湖森林づくり基本計画 進行管理および基本指標等達成度に対する点検・評価シート

I：基本施策【基本指標】		H15(現状)	H22	H23	H24	H25	H26	H27	進捗状況	H32 (長期目標)	達成率評価 (長期目標)	達成評価 (長期目標)	評価理由	審議会意見	対応方針
1 環境に配慮した森林づくりの推進															
(1) 琵琶湖の水源林の適正な保全・管理の推進	111 民有林に占める保安林面積の割合(累計)(%)	33	34	35	35	35	35	36	森林の多面的機能を高度に発揮させるために、新たに597haを保安林に指定した。 累計は65,478haで民有林の約36%である。	38	C	★★★★	防災に関係する保安林、治山と間伐を均等に評価し、★3つとした。	・持続可能な森林整備のため森林認証制度の活用を考えるべき。 ・林地の境界の問題については行政が主導し取り組むべき。	・琵琶湖の水源林や環境保全に資する森林整備や木材生産活動を推進することとしており、森林認証制度の活用について検討する。 ・境界の問題への対応として、平成27年度から県・市町で構成する協議会を設置し、情報共有を図るとともに、先駆的に取り組む市町を支援している。 ・また平成28年5月の森林法の改正により市町が統一的な基準に基づいて、森林の土地の所有者等の情報を取りまとめて整備・公表する林地台帳制度が創設された。台帳作成の実施主体である市町の間取組を積極的に支援することで、境界情報の保全と整備を推進する。
	(112) 治山事業による保安施設整備割合(累計)(%) ※保安林面積に対する保安施設整備面積の割合 ※H26までの指標	49	58	58	58	58	58	49	37,774ha	42,100ha	C				
	112 治山事業による保安施設整備面積(累計) ※H27からの指標	31,795ha							37,774ha 58%						
(2) 持続可能な森林整備の推進	121 除間伐を必要とする人工林に対する整備割合(%)	64	97	81	62	66	56	64	昨年度に比べ微増となっているが、事業実施に当たり、境界確定等に多くの労力・時間を要しており、今後も林地の集約化に一層取り組む必要がある。	90	B				
(3) 生物多様性の保全に向けた森林づくりの推進	131 下層植生衰退3以上の森林の割合 ※衰退度3は半数以上の森林で高木の後継樹が消失、傾斜地では約10%の森林で強度の土壌浸食が発生する衰退度	現状(H24)					20	-	※計画改定にともなう新しい指標。この指標については5年後(H29)を目途に調査します。	10	-				
2 県民の協働による森林づくりの推進															
県民の主体的な参画の促進	(211) 森林づくり活動を実践している市民団体等の数(団体・累計) ※H26までの指標	30団体	112団体	120団体	127団体	139団体	163団体			150団体		★★★★	2項目を均等に評価し、★4つとした。	森林づくりの団体やイベント等の参加者について、数だけでなく、活動内容など、その質を高めていく必要がある。	森づくり県民講座等を通じて活動団体の技術のレベルアップを支援していく。また団体の活動内容について、ホームページ等を通じて、発信に取り組む。
里山の整備・利活用の推進	(221) 里山整備協定林の数(箇所・累計) ※H26までの指標	0箇所	11箇所	12箇所	13箇所	14箇所	14箇所			40箇所					
(1) 多様な主体による森林づくりへの支援	211 協定を締結して整備する里山の箇所数(累計) ※H27からの指標	0箇所						169箇所	里山を保全活動フィールドとして活用するだけでなく、ニホンジカ等の獣害被害軽減対策として緩衝帯整備に取り組む団体も増え、地域で里山を管理する体制が広まっている。	300箇所	C				
(2) 県民の主体的な参画の促進	221 びわ湖水源のもりづくり月間の森林づくりへの参加者数	1,583人	6,819人	7,481人	10,618人	10,290人	11,845人	11,430人	参加者数が昨年度に比べると微減だが、県広報誌やホームページ等での啓発や森づくり交流会などのイベント等の開催などにより月間における森林づくりへの参加を積極的に促した。	13,000人	B				
3 森林資源の循環利用の促進															
(1) 県産材の利用の促進	311 県産材の素材生産量(m3)	32,000m3(H20)	43,000m3	67,000m3	59,000m3	62,000m3	56,000m3	54,000m3	森林組合等における素材生産は、平成27年度末で約4万1千m3で、前年度より6千m3の増となったが、住宅需要の伸び悩みなどから全体として2千m3の減となった。今後引き続き幅広い利用や需要に応じていけるよう、目標達成に向けて素材生産の一層の拡大に取り組む必要がある。	120,000m3	D	★★	達成率45%のため星2つとした。	生産量を増やすため、県産材の利用のための働きかけが必要。	需要に応じた生産が可能となるよう、木材の生産から流通・利用に至る林業・木材産業の活性化を図る林業成長産業化の取組を通じ、公共建築物の木造・木質化の推進やCLTの普及、木質バイオマスエネルギー利用など新たな需要の創出を推進し、県産材の需要喚起につながる取組を進めていくことにより、素材生産の拡大を図っていく。
4 次代の森林を支える人づくりの推進															
(1) 森林所有者等の意欲の高揚	411 地域の森林づくりを推進する集落数(集落)	25箇所	60箇所	62箇所	80箇所	82箇所	89箇所	97箇所	森林経営に積極的に取り組む森林所有者等を育成するために、林業普及指導員が中心となって、市町や森林組合、林研グループなどと連携して、情報提供や技術指導等を行った。	100箇所	A	★★★★	2項目を均等に評価し、★3つとした。	地域の森林づくりを推進する集落数の目標達成状況はよいが、森林所有者の森林整備への意欲の向上につなげる必要がある。	森林所有者による森林経営意欲を喚起するため、県・市・森林組合等が連携し、森林情報の提供を行うとともに、森林経営計画の作成が促進されるよう支援に取り組む。
(2) 森林組合の活性化	421 森林組合の低コスト施策実施面積(ha)	80ha(H20)	273ha	338ha	438ha	436ha	530ha	590ha	森林組合に対して、集約化施策を推進するために、森林境界明確化に重点的に取り組んだり、森林施策プランナー研修や作業道オペレーター研修などを行ったことにより面積増となった。今後も森林所有者への周知を強化し、集約化の拡大に取り組む必要がある。	1,400ha	D				

達成率の計算方法
 ①実績が単年のもの： 実績値／目標値
 ②実績が累計のもの： (実績値－現状値)／(目標値－現状値)
 計算例 ①111保安林面積割合 (36-33)／(38-33)=60%
 ②311県産材素材生産量 54,000／120,000=45%

個々の取組みの達成率の評価 A：90%以上 B：70-89% C：50-69% D：30-49% E：30%未満

基本施策・戦略プロジェクトの達成率の評価 ★★★★★：90%以上 ★★★★★：70-89% ★★★：50-69% ★★：30-49%

琵琶湖森林づくり基本計画 進行管理および基本指標等達成度に対する点検・評価シート

II：戦略プロジェクト【6年間の取り組み】		H26(現状)	H27	進捗状況	H32(目標)	達成率評価	達成評価	評価理由	審議会意見	対応方針
1 環境に配慮した森林づくり推進プロジェクト	除間伐等の森林施業を実施した森林の面積	2,227ha 達成率	2,938ha 95%	昨年度に比べ多くの森林整備を実施することができた。ただ事業実施に当たり、境界確定等に多くの労力・時間を要しており、今後も林地の集約化に一層取り組む必要がある。	3,100ha	A	★★★★	4項目全体を評価し、★3つとした。	森林整備や木材生産拡大のため、境界明確化の取組の強化が必要。	平成27年度から県・市町で構成する協議会を設置し、情報共有を図るとともに、先駆的に取り組む市町を支援している。また平成28年5月の森林法の改正により市町が統一的な基準に基づいて、森林の土地の所有者等の情報を取りまとめた整備・公表する林地台帳制度が創設された。台帳作成の実施主体である市町の取組を積極的に支援し、土地境界情報の保全や整備を推進する。
	境界明確化に取り組んだ森林面積(累計)	1,023ha 達成率	1,436ha 7%	H27から、県・市町で構成する協議会を設置し、情報共有等を図るとともに、先駆的に取り組む市町を支援したことで、市町主体の取り組みが進んだ。今後は、この協議会等を活用し、市町・森林組合といった多様な主体による取り組みを推進し、境界明確化を図っていきたい。	7,000ha	E				
	ニホンジカの捕獲数	14,374頭 達成率	13,950頭 87%	昨年度の冬期の積雪量が例年の約3割程度と少なかったこと等で、ふもとへのシカの移動が少なく、高標高域まで生息が維持されたため、目撃効率および捕獲効率が低下したことにより、捕獲数が減少となった。	16,000頭	B				
	生物多様性に配慮した治山・林道工事の箇所数	46箇所 達成率	57箇所 76%	緑化資材の種子配合や現地伐倒材の使用など、動植物の生息・生育環境など生物多様性に配慮した治山・林道工事を、前年度よりも多く発注することができた。	75箇所	B				
2 県民の協働による森林づくり推進プロジェクト	活動をPRする森林づくり団体数(累計)	68団体 達成率	76団体 9%	森づくり活動団体のネットワーク化と情報を一元的に発信することにより、活動の活性化を目指している。新たに8団体の情報を「森づくりネットしが」に掲載した。	160団体	E	★	2項目の達成率は低調であり、★1つとした。	目標達成のため積極的に取組を推進されたい。	・森林づくり活動団体の掲載増加に向けて、交流会等のイベント参加団体や新聞等の媒体で紹介された団体に対して呼びかけ、森林づくり活動の輪が更に広がるよう努める。 ・「企業の森」の増加に向けては、企業を訪問して情報提供に努めるなど、地道に取り組む。
	琵琶湖森林づくりパートナー協定(企業の森)締結数(累計)	23箇所 達成率	23箇所 0%	企業と森林所有者とが「琵琶湖森林づくりパートナー協定」を締結し、企業から提供いただいた資金によって森林整備が実施されている。年間2件の新規締結を目標として再設定したが、昨年度は契約まで至らずゼロであった。	35箇所	E				
3 森林資源の循環利用促進プロジェクト	びわ湖材を使用し整備した木造公共施設数	16施設 達成率	10施設 50%	びわ湖材を使用し整備された木造公共施設は、6市1町で10施設(福祉施設3、保育所3、県整備施設3、市整備施設1)で、びわ湖材が活用された。今後更に市町ほか関係機関との情報共有や連携を図りながら、公共施設へのびわ湖材利用が促進されるよう取り組んでいく。	20施設	C	★★★★	3項目を均等に評価し、★3つとした。	公共施設の木造化を図るなど県産材の利用を進め、その価値を高めていく取組が必要。	住宅を始め、特に公共建築物の木造・木質化の取組を積極的に進め、県全体の木材需要への波及を図っていくとともに、地域連携による県産材の活用を促進する。またびわ湖材を使用し、デザイン性や機能性に優れた製品についての情報を発信することや幅広い分野への活用を推進することにより、県産材の価値を高めていく。
	びわ湖材認証を行った年間木材量	32,109m3 達成率	36,865m3 57%	びわ湖材を取り扱う認定事業者は、平成27年度末時点で164者、認定した木材量は、36,865m3(対前年度4,756m3の増)となった。引き続き「びわ湖材」の普及と認証制度の理解を醸成できるよう取組をすすめる必要がある。	65,000m3	C				
	木材流通センターとりまとめによる原木取扱量	10,012m3 達成率	17,818m3 45%	B材を中心に、県内各森林組合との連携をすすめることにより、前年度7,806m3の取扱量の増となった。今後も引き続き、需要者ニーズに安定して応えていけるよう取扱量の増、需要の開拓などに取組を進めていく。	40,000m3	D				
4 次代の森林を支える人づくり推進プロジェクト	認定森林施業プランナー数(累計)	16名 達成率	24名 57%	森林施業プランナーの技術、知識の向上を支援しており、技量が一定水準にあることを示す資格取得の必要性が周知されてきた結果、新たに8名の合格者が追加された。	30名	D	★★	3項目を均等に評価し、★2つとした。	人材育成の取組が、確実に森林整備や木材生産の計画に位置づけられるような仕組みが必要。	森林整備や素材生産の目標に対応するため、川上から川下まで全ての段階で、専門的な人材の育成を推進する。
	自伐型林業育成研修の開催数	4回 達成率	10回 67%	自伐型林業を目指す県民、グループに対し、森林施業を始めとした指導、支援を行っている。新たな支援事業の実施により10回の開催を行った。	15回	C				
	乳幼児に向けた「木育」に取り組む市町の数	0市町 達成率	2市町 11%	2市町(長浜市、多賀町)が保育所等に対し、木育のスタートとしての県産材使用の食器、玩具の提供に対する経費の補助を行った。本事業が、当該市町における「木育」の幅広い取組につながるよう、引き続き関係者と連携して進めていく。	19市町	E				

達成率の計算方法
 ①実績が単年のもの： 実績値／目標値
 ②実績が累計のもの： (実績値－現状値)／(目標値－現状値)
 計算例 ①除間伐等の面積 2,938／3,100＝95%
 ②境界明確化の面積 (1,436-1,023)／(7,000-1,436)＝7%

個々の取組みの達成率の評価 A：90%以上 B：70－89% C：50－69%
 D：30－49% E：30%未満

基本施策・戦略プロジェクトの達成率の評価 ★★★★★：90%以上 ★★★★：70－89% ★★★：50－69% ★★：30－49% ★：